

令和7年度

県営水道フレンズ  
第2回アンケート調査の結果

令和8年3月

神奈川県企業庁

## 目 次

### I 調査の概要

1	調査目的	1
2	調査内容	1
3	調査対象	1
4	調査方法	1
5	調査期間	1
6	回答率	1

### II 調査結果

1	県営水道の今後の取組	3
2	県営水道フレンズの活動	8

資料	： 令和7年度 県営水道フレンズ第2回アンケート調査票	14
----	-----------------------------	----

## I 調査の概要

### 1 調査目的

県営水道に対する理解度やニーズを把握し、今後の県営水道事業経営や広報活動の基礎資料として活用するもの。

### 2 調査内容

- (1) 県営水道の今後の取組
- (2) 県営水道フレンズの活動

### 3 調査対象

県営水道フレンズ登録者 539 人

### 4 調査方法

インターネットによる回答（電子申請システム）

### 5 調査期間

令和8年2月2日（月）～2月15日（日）

### 6 回答率

回答数	147 件
回答率	27.3%

## <参考>回答者の内訳

当アンケート回答者の内訳は以下のとおり

表 1

性別	人数
男性	66
女性	81
計	147

表 2

年代別	人数
10代	0
20代	4
30代	8
40代	24
50代	57
60代	26
70代	20
80代	8
90代	0
計	147

表 3

地域別	人数
相模原市	43
鎌倉市	10
逗子市	5
葉山町	0
藤沢市	22
茅ヶ崎市	13
寒川町	2
平塚市	6
二宮町	2
大磯町	5
厚木市	20
伊勢原市	3
海老名市	4
大和市	12
綾瀬市	0
小田原市	0
愛川町	0
箱根町	0
計	147

表 4

職種	人数
会社員	46
自営業	8
主婦・主夫	43
パート・ アルバイト	15
学生	4
無職	22
その他の職業	9
計	147

## Ⅱ 調査結果

※回答の構成比(%)は小数点以下を四捨五入しているため、合計が100とならない場合もあります。

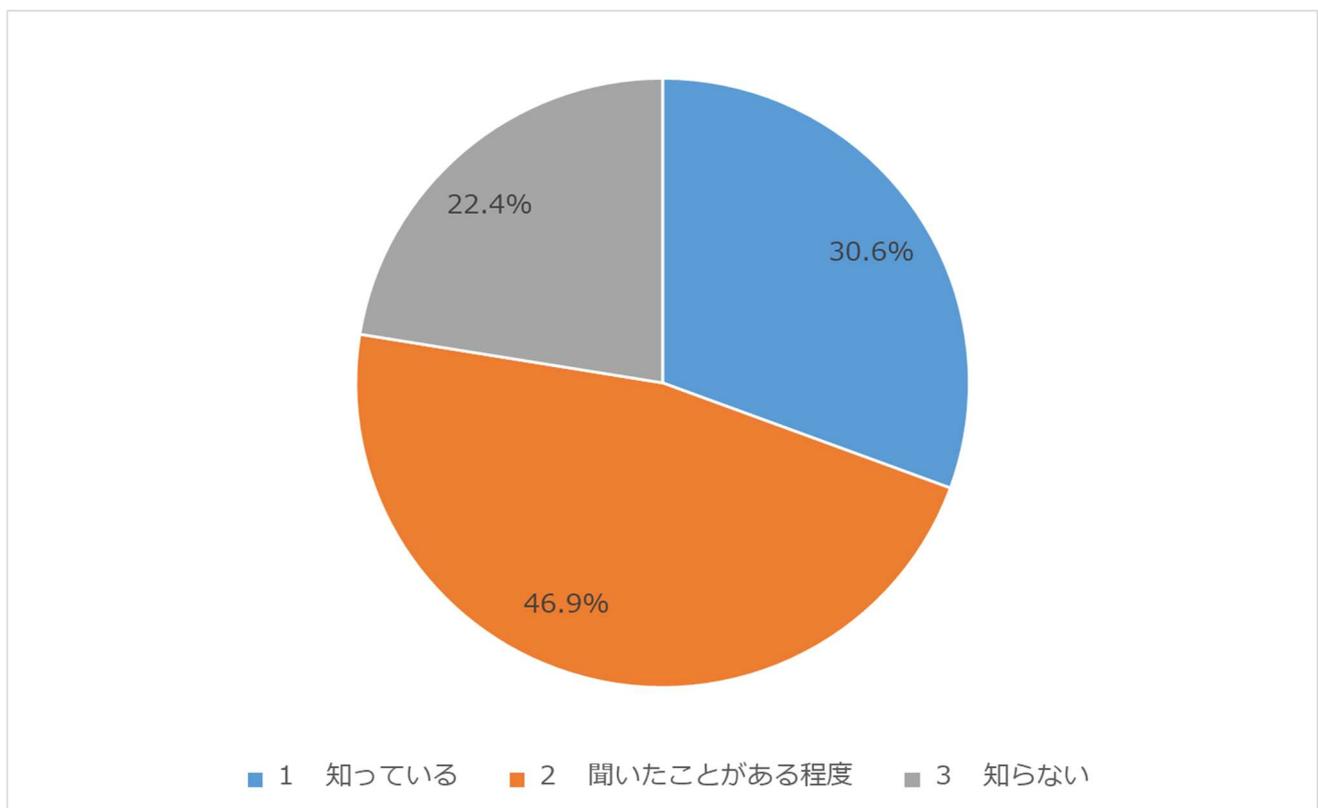
### 1 県営水道の今後の取組

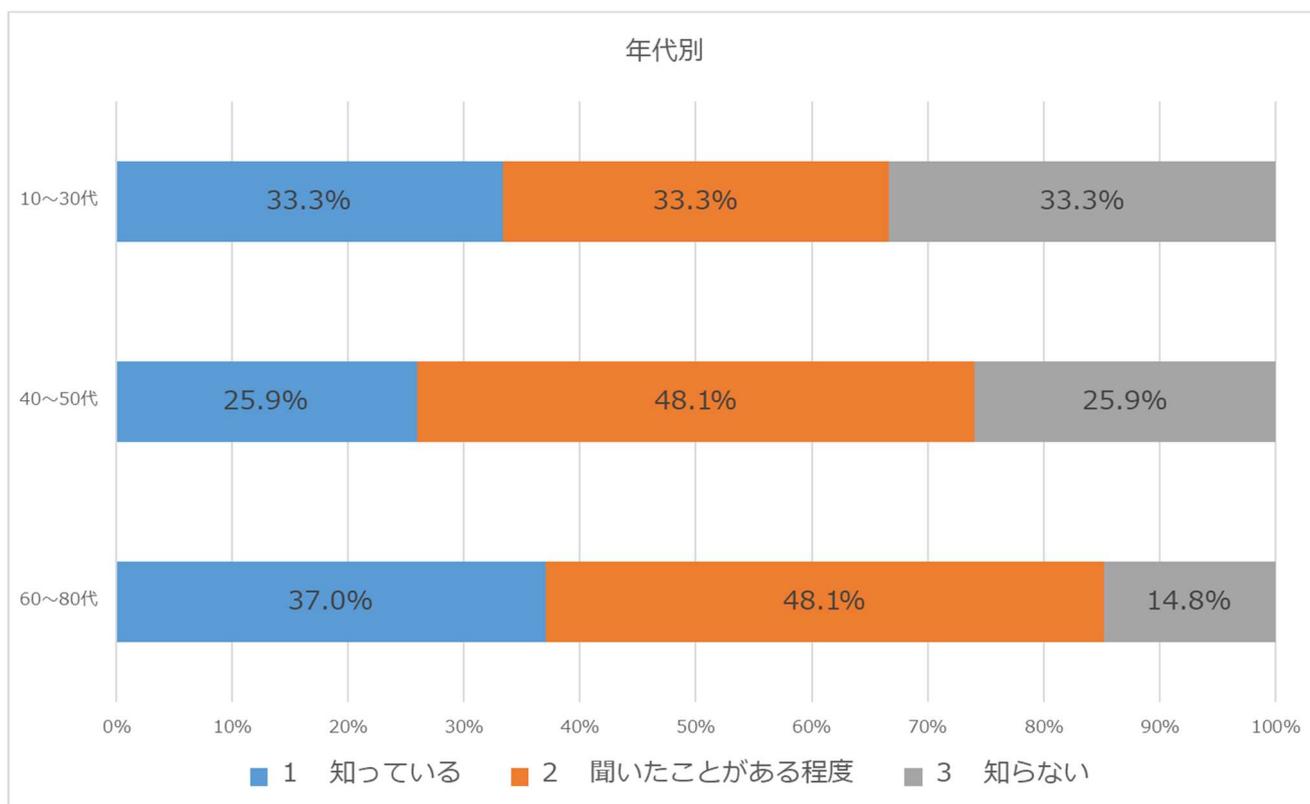
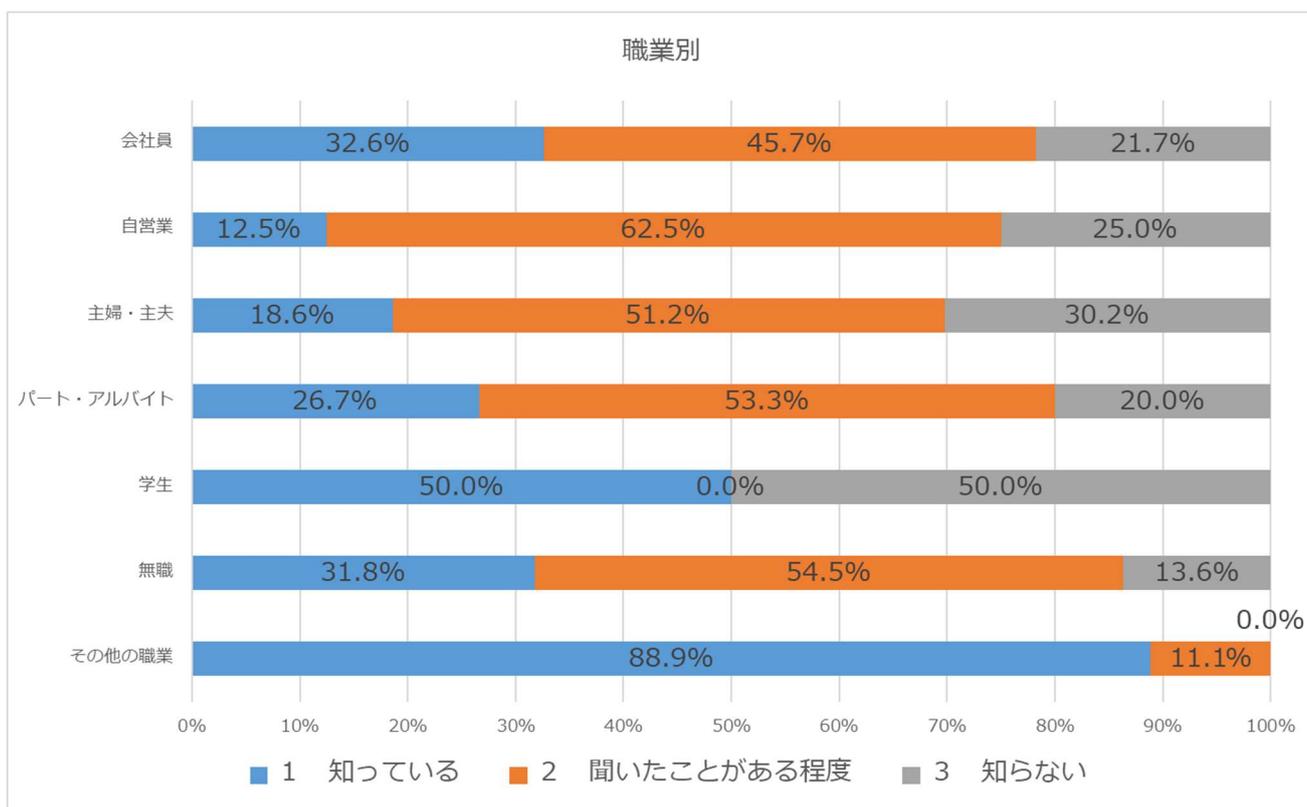
#### 質問1

県営水道では、将来の安定した事業運営に向けて学識経験者や水道使用者等の方々による検討を深めていただくため、「神奈川県営水道事業審議会」を設置し、県営水道事業の経営に関する諸課題について、審議をいただいています。

この「神奈川県営水道事業審議会」の活動を知っていますか。

「聞いたことがある程度」と回答した人の割合が46.9%と最も高く、「知っている」と回答した人の割合が30.6%、「知らない」と回答した人の割合が22.4%となった。





## 質問2

水道事業を取り巻く事業環境は、人口減少の進展、水道施設の老朽化、大規模地震発生の懸念など全国的に課題が山積していると言えます。県営水道フレンズのみなさまから見て、県営水道が将来に向けて力を入れていくべきことを、その理由を含めて入力してください。

### (老朽化対策・耐震化の推進)

- ・水道施設の老朽化対策と大規模地震の対策に、長期的な計画を立てて取り組んでほしい。
- ・老朽化した水道施設の計画的な更新と耐震化を最優先で進めてほしい。大規模地震等の災害時においても安定的に水を供給できる体制は、県民の生命と生活を守る基盤であり、信頼される水道事業の根幹だと思う。
- ・高度経済成長期から時間が経過し、水道施設の老朽化が進行しているため、今後、新たな施設を作る際には、先を見越した点検方法が必要になってくると思う。施設のメンテナンスに力を入れて欲しい。
- ・最近、水道管の老朽化に伴い各地で漏水事故が発生している。近年、物流事業者が増えて大型トラックの往来が激しく、結果として道路にかかる圧力が大きくなり、水道管に悪影響を与えているのではないか。そこで、敷設して何年経過したというデータの他に、交通量と水道管の劣化との関係も研究していただけないか。最重要なインフラだけに、もっと産官学の共同研究が望まれる。
- ・水は社会生活に欠かせないものだが、近年、設備の老朽化による事故が多発している。料金の値上げはやむなしとし、早急に改善を図るべきだと考える。設置したものはいずれ老朽化するものであり、次世代に引き継ぐためにも、先延ばしせず対策を講じる責任があると考え。
- ・大規模地震が発生した際は、医療機関や避難所への供給を最優先で確保する必要がある。AI やセンサーを活用した劣化診断による予防保全や基幹管路の耐震化、災害時に相互に水を送り合える連絡管の整備に取り組んでほしい。

### (企業経営)

- ・どこでも誰でも不自由なく水を安定供給することは、人や予算などリソースの問題で無理だと思う。極端な話だが、「水道管の維持管理を外国人労働者に委託する」、「限界集落などは切り捨てる。そのような地域は、定期的に水を届ける。維持してほしいなら費用を負担してもらおう。」、「10年後から、この地域は水道間のメンテナンスは実施しない可能性がある」と打ち出してみる」など、このような議論もしないといけない時期なのではと思う。
- ・給水区域全てに不自由なく水を安定供給することは、人的資本や予算を考えると維持が難しいと思う。厳しい見方かもしれないが、今後も持続可能な運営を行うために、給水区域を狭めることも考える必要があるのではないか。
- ・水道は生存に必要なインフラなので、民営化しないでほしい。
- ・水道管更新については、人口に応じて更新しないと莫大な水道料金になり、個人も企業も負担できなくなると思う。コンパクトシティを目指すことも必要だと思う。
- ・民間の資金や運営ノウハウを活用することで、コスト削減と効率化を図る。

### (広報)

- ・蛇口をひねれば出てくる水を維持、管理することがどれほど大変なのかを、利用者に理解してもらうことが重要であるため、広報活動により力を入れるべきだと思う。SNS やインターネットの活用、自治体や自治会の活用、イベントの実施などが考えられる。認知を広げ、多くの理解者、協力者を得た上での施策でないと、予算をかけたり、継続させたりすることが難しいと思う。
- ・安定的にきれいな水が使い続けられるようにするために、必要な課題をもっと広く多くの人が目にするとところで提示していくことによって、関心を深められるのではないかと思う。水道料金の値上げが必要だとしても、納得してもらうための情報が不足しているように思う。
- ・水は本当に生活に欠かせないので、安定的な供給をお願いしたい。費用がかかるのは仕方ないが、なぜそれだけかかるのかを、分かりやすく発信してほしい。
- ・地球温暖化で渇水の危機や洪水の危険があるため、日頃から節水活動についてもっと啓蒙活動を活発にすべきだと思う。

### (水道料金)

- ・料金改定については、より納得できる説明をわかりやすくしてほしい。
- ・八潮市の事故を二度と起こさないためにも、必要な点検、改修などの経費は使用者に負担、もしくは税金から捻出して欲しいと思う。
- ・水道料金の値上げをしないと立ち行かないはずなので、値上げを行う。企業努力をしていることを示した上で、値上げの理解を得るために、過疎地域へのサービスを終了する。

### (広域連携)

- ・人口が減少していく中、今後は人材確保や資金繰りが困難となり、これまで通りの維持管理が出来なくなると思われる。広域での連携や統廃合により、効率的に運営していくべきだと考える。
- ・人口減少と同時に過疎化が進むと考える。住民への給水が必須だと考えると、そのための経路にかかる費用が今後重荷になる。県営水道で賄えるうちはよいが、今後はこのような構造変化に対応していくため、広域化を検討する必要があると思う。
- ・資機材の購入、広報、組織等の広域対応を目指してほしい。

### (新技術等の導入)

- ・技術職員の不足対策としての AI 活用。AI による水道管の診断により、交換の優先順位を決めるまでの期間が短縮されると考えられる。
- ・公共インフラ網につながっていないオフグリッド型で水を使う方法の導入。災害時にも役立つことと考える。自治会単位などで導入すれば、水道管の復旧までの間、給水車以外の方法として有効ではないか。
- ・室内型の水源への変更。富士山の噴火が起こった場合、神奈川県にも火山灰が降り、貯水池が利用できなくなることが考えられる。初期投資の額は大きいと考えるが、県内の水道事業者の協力で、実現されることを願う。

### (渇水対策)

- ・水不足が心配。水の心配がないように考えていただきたい。
- ・少雨により宮ヶ瀬湖なども水不足だと報道されているため、水の確保をしっかりとしてほしい。
- ・今年の冬は雨があまり降らなかったため、ダム水量なども気になる。

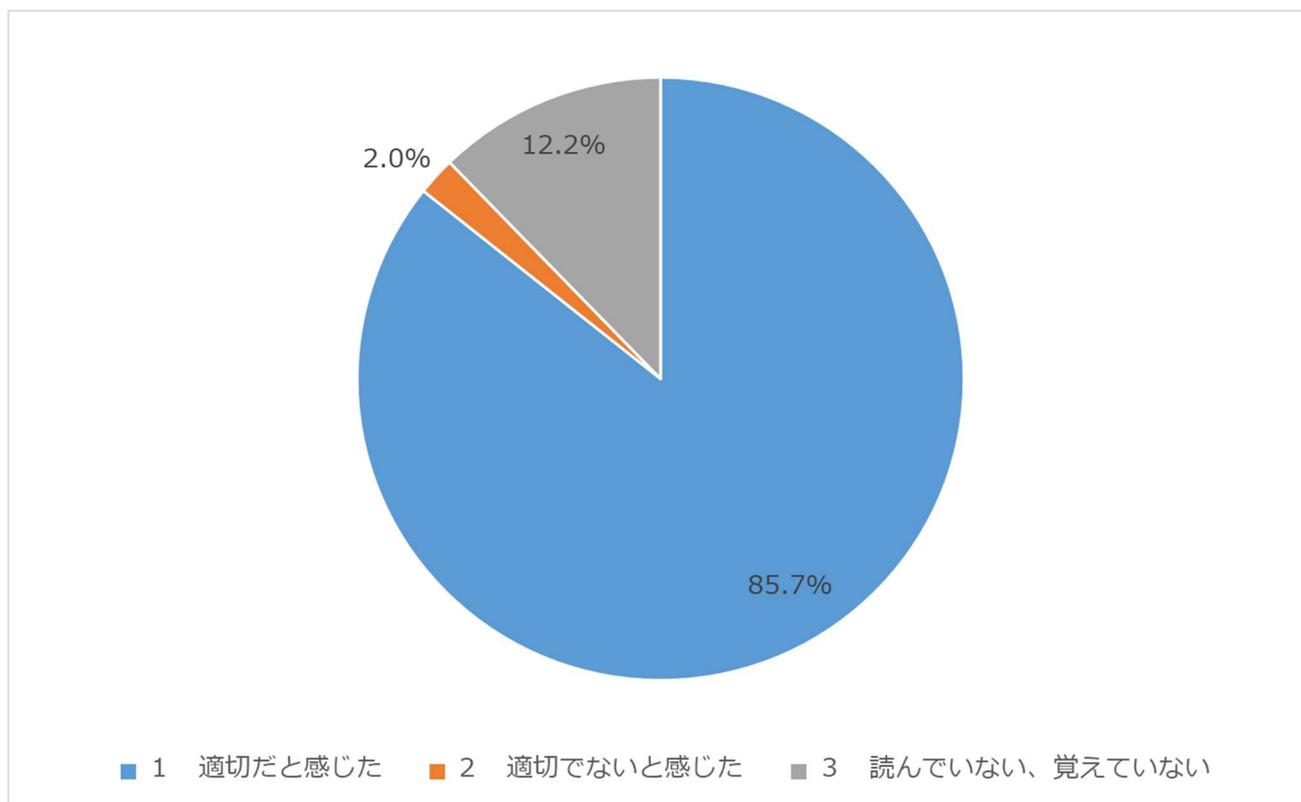
### (全般・その他)

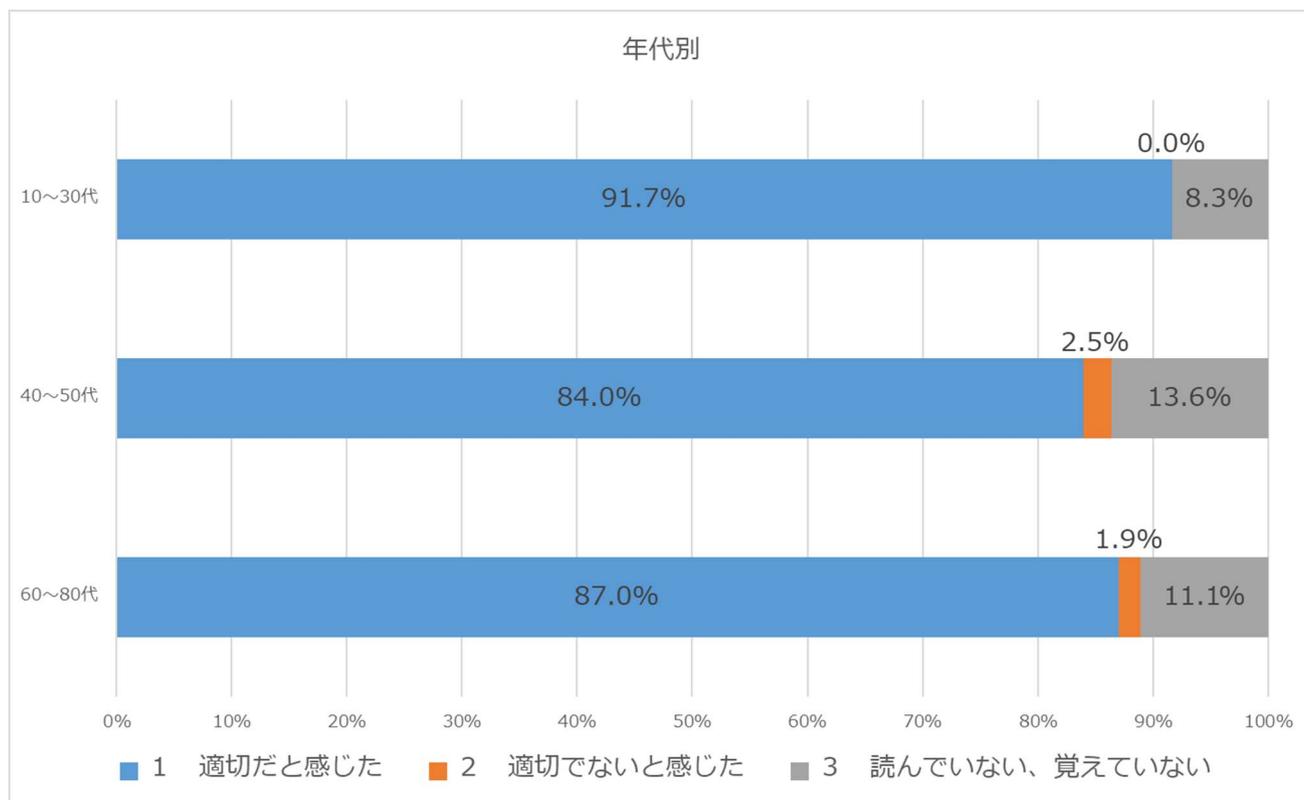
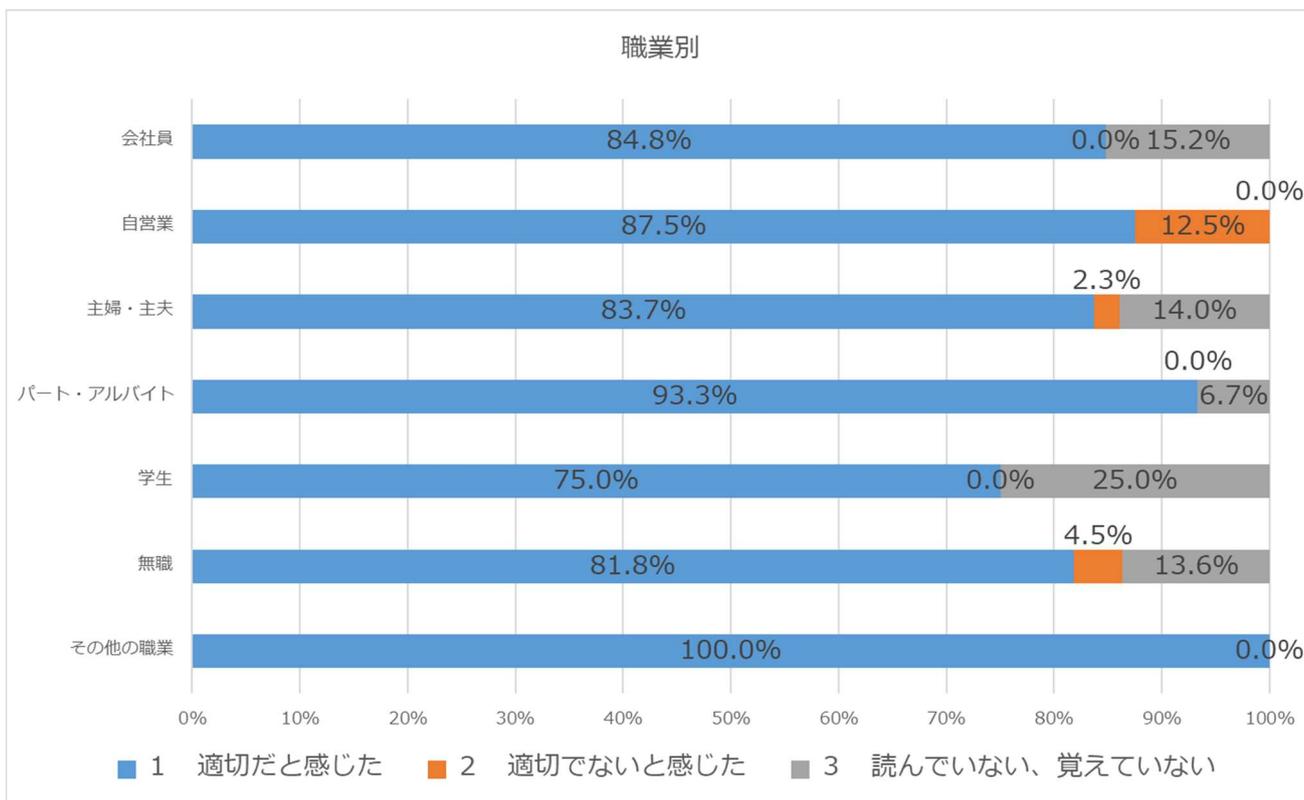
- ・将来、確実に発生する大地震に備え、水道施設の老朽化対策や、地震に強い水道管の布設が必要だと思う。そのためにも、今後策定する計画は、将来的な物価の上昇等を考慮した上で、短期・中期・長期と段階別に目標を定めるべきだと思う。また、水道料金の値上げも、物価上昇を加味し、計画的に行うべきだと思う。その際、将来の水道料金をシミュレーションし、値上げ時期も含め広く公開し、加入者の納得を得るような説明を行うことが大切だと思う。
- ・適正な料金改定（値上げ）や、積極的な AI/DX 活用（対応できる人材確保含む）。その上で、場合によってはサービス提供地域の縮小を検討（過疎地域などは、別の手段で水確保の方法を考える）。
- ・安全で良質な水道を確保する上で、今後、水源地域における気候変動の影響への対応が重要になると考える。水源涵養林の整備、土壌侵食対策、貯水池での水質管理が重要である。水循環の視点に基づく持続可能な水利用と環境保全は、将来世代への責務と考える。
- ・将来にわたり適切に管理された水道を目指す上で、人口減少社会に備えたダウンサイジングや既存インフラの統廃合、災害への強靱化対策など、長期にわたるハード面での課題がある。今後 AI の活用が進むとはいえ、技術と社会をつなぐのは、最後は人。暮らしと命に不可欠な水道事業をプレイアップし、業界とも魅力度アップに努め、水道の将来を担う人材を確保して育成することは、社会的使命と考える。
- ・信頼に応える水道であることが最も重要だと思う。市民が水道を自分たちのインフラとして自分たちで守っていくという思いをもち、水への関わりをもっと意識していかなければ、直面する課題は解決できない。SNS での情報発信や広報だけでなく、イベント活動や出前授業、市民講座等を通じた双方向の啓発と理解促進は、相互の信頼の基盤づくりとして重要な取り組みであると思う。
- ・有限の資源である水や水源林の保全について、経済安全保障の観点から他国に狙われないよう、審議会でも議論してほしい。
- ・日本の水は世界でも有数の高品質なので、水のリサイクルをもっと検討すべきだと思う。
- ・水道事業関連の研究は地味な面もあり、研究がやや浅いように思われる。従来の研究の枠組みに捉われない、新たな研究者の育成や充実が必要と思われる。

### 質問3

今年度は水道フレンズメールにて、連載シリーズ「県営水道の管路整備や耐震化、老朽化対策について」を令和7年6月から11月まで、全5回にわたりお届けしました。今回の連載シリーズの内容や連載形式等について、該当する選択肢をお選びください。

「適切だと感じた」と回答した人の割合が85.7%と最も高く、「読んでいない、覚えてない」と回答した人の割合が12.2%、「適切でないと感じた」と回答した人の割合が2.0%となった。





#### 質問 4

質問 3 に関連して、その選択肢を選んだ理由を教えてください。

##### (記事の内容について)

- ・重要なインフラである水道について、管路整備や耐震化、老朽化対策などを具体的に知ることができ、有意義だと感じた。
- ・誰でも理解できるような文面と丁寧な説明があり、わかりやすい。
- ・管路の老朽化や耐震化といった内容は普段あまり意識する機会がないが、連載形式で身近な生活との関わりを交えて説明されていたため、県営水道が日常生活を支えていることを実感できた。
- ・上下水道はセットであることが分かって面白かった。
- ・定期的にメールが来る度、水道について考えるよいきっかけになった。
- ・わかりやすい内容だったため、水道の知識が少ない人への配慮が感じられた。
- ・知りたいことが簡潔にわかりやすく説明されているので、「なるほど」と頷いてしまう。連載シリーズの大ファンである。
- ・県営水道の予算の中で、管路整備・耐震化・老朽化に充てた費用がどの程度なのか、示してほしかった。

##### (配信回数、記事のボリュームについて)

- ・5回という回数は多すぎず少なすぎず、適切であると感じた。
- ・内容が分かりやすく適切なボリュームなので、今後も継続してほしい。
- ・おもしろい内容だった。もっと企画やメールを増やしてほしいと思う。
- ・若干盛り込み過ぎの気もするが、周知に向けて必要とも思うのでやむを得ないと思う。
- ・知らない事や気になる事がたくさんあり、とても参考になったが、少し長くて理解しにくい内容もあった印象。
- ・記事のボリュームを減らしてほしい。
- ・文字が多くて読む気が失せてしまう。

##### (記事の形式、配信方法について)

- ・情報を得たい人にとっては有益だと感じた。一方、このような「コア」な人に向けての情報発信だけでなく、もっと広く一般への展開も行うべきではないかと思う。
- ・せっかくの記事なので、フレンズ以外の県民にも、防災訓練などを通して伝える機会があるといいと思う。
- ・PowerPoint のような図やグラフ、イラスト等を用いた視界から入る情報に特化した表記方法の方が、印象に残る。
- ・出来れば冊子にまとめたものをPDFで公開してほしい。
- ・内容を分かりやすく、例えば絵や写真を沢山使う。文字を大きくし、視覚に訴えた方が良いと思う。
- ・内容をあれこれイメージしながら読んだ。イラストや動画での情報提供も期待している。

- PDFはスマホユーザーにとって読みづらいと思った。ホームページに記事を掲載し、メールからリンクで案内する等、別の手段も検討してほしい。
- 読む気がない人でも読みたくなるような工夫が欲しい。読む側が積極的に読もうとしないと頭に入りにくい。多少体裁の整った報告書と呼んでいるような感じがした。

## 質問5

水道フレンズ交流会において、聞きたい講義または意見交換で話し合いたいテーマ、見学したい施設がありましたら、入力してください。

### (聞きたい講義)

- ・ 県営水道の水源の水質はどのようになっているか知りたい。
- ・ 県営水道の歴史について（特に給水区域拡大の過程や、ダム建設等現場での経験談）。
- ・ 施設ではなく、震災の経験談など、水の大切さがわかる講演を聞きたい。
- ・ 水道水が家庭に届くまでの仕組みや水質管理、災害時の対応を詳しく学びたい。
- ・ 水道管の寿命について。
- ・ 老朽化した水道管の更新について、水道事業者としてどのような見通しを持っているのか。また、工事に伴う財源確保や人材確保について、どのように考えているのか聞きたい。
- ・ 神奈川県に渇水の心配はないのか。
- ・ 世界の水道事情について。
- ・ 災害時の給水車の運用について知りたい。
- ・ 水道料金について、現状や課題、今後の見込みなど総合的な内容について。
- ・ 県内の水道事業者の管轄について。将来の統合について。
- ・ おいしい水道水の飲み方があれば教えてほしい。
- ・ 何か水道のトラブルがあった時の対処方法や費用について。
- ・ 入札の仕組みや人件費などについて、事務の業務についても話を聞きたい。
- ・ 企業庁の幹部職員の講話に興味がある。

### (意見交換会のテーマ)

- ・ 今後の水道料金
- ・ 県営水道の水質が気になるため、安全安心な水道について話し合いたい。
- ・ 県営水道が将来に向けて力を入れていくべきことについて、他の人の意見が聞きたい。
- ・ 水道事業の人材確保について。
- ・ 渇水等の危機に対して一人ひとりにできること。

### (見学したい施設)

ダム/浄水場/水源（源流）/貯水池/配水池/取水口 /耐震化・老朽化整備の現場見学

- ・ ダム見学のために現地集合するのは大変なので、バスで連れて行ってほしい。
- ・ ダムについて、特に放流を見学したい。
- ・ 施設見学を通して最新の知識を習得したい。
- ・ 参加できなかったことがあるので、実施日数を増やしてほしい。
- ・ こども向けの施設見学希望。
- ・ 大人向けのマニアックな内容の見学希望。

(回答数 99 件)

## 質問6

今までの、あるいはこれからの県営水道フレンズの活動について、ご意見・ご感想等がありましたらご自由に入力してください。

- ・水道水の水源（源流）を見てみたいので、連載メールに写真付きで取り上げてほしい。
- ・遠くてなかなか足を伸ばすことができないので、さまざま現場の画像も見てみたい。
- ・県営水道で日々取り組んでいることや、水道に関するトピックやニュースについて、メールで定期的に触れることで、フレンズが水道事業をより身近に感じられるようになると思う。
- ・県営水道の取り組みや課題について理解を深めることができた。特に連載メールは、普段知る機会の少ない内容を分かりやすく知ることができるため、有意義だと感じている。
- ・能登半島地震をはじめとする自然災害における水道関連施設の被害状況や復旧状況、今後の対策などを引き続き伝えてほしい。
- ・現場経験者が歴史を語る連載コラムを記事にしてみても。「さがみの水」に掲載するのが、一番インパクトが大きいと思う。
- ・カッピーが好きなので、グッズが毎回かわいくてとても嬉しい。
- ・カッピーが登場するイベントがあると嬉しい。
- ・将来世代に水の大切さを伝えるためにも、子ども向けの体験型イベントや施設見学を増やしてほしい。家族で参加できる取り組みがあると、水道事業への理解がより深まると思う。
- ・子どもと一緒に参加できるイベントを増やしてほしい。
- ・ZOOMなどを利用したオンラインのイベントも開催してほしい。
- ・長期休みのイベントの回数を増やしてほしい。
- ・イベントに参加するのは難しいので、水道施設やイベントの内容を動画で紹介してほしい。
- ・水道事業に携わる人々の声が聞きたい。
- ・水道事業に携わる者から見た震災の体験談が聞きたい
- ・水道に関する講演会を開いてほしい。
- ・日本の水道の歴史や神奈川県の水道の歴史について、解説してほしい。
- ・災害対応や水質向上・業務の効率化等、水道事業における最新技術や工夫について取り上げてほしい。
- ・県営水道フレンズの活動はあまり目立たないため、県HPの目立つ場所にリンクを貼るなど、工夫する必要があると思う。
- ・水道水はコスト面においてミネラルウォーター等より優れていることをアピールすれば、消費者もコスト意識からより水道水を使用するようになると思う。
- ・子供向けのアンケートも実施してほしい。
- ・様々な属性を持つ人々が集まることで意見交換がより有意義なものになるため、フレンズの募集方法について一考してほしい。

(回答数 83 件)

**<資料> 令和7年度 県営水道フレンズ第2回アンケート調査票**  
(※アンケート調査は終了しています。)

**〔基本情報〕**

質問 名前【必須】

質問 フレンズ番号

質問 登録メールアドレス【必須】

質問 職業【必須】

**〔県営水道の今後の取組〕**

質問1 県営水道では、将来の安定した事業運営に向けて学識経験者や水道使用者等の方々による検討を深めていただくため、「神奈川県営水道事業審議会」を設置し、県営水道事業の経営に関する諸課題について、審議をいただいています。

この「神奈川県営水道事業審議会」の活動を知っていますか。【必須】

- 1 知っている
- 2 聞いたことがある程度
- 3 知らない

質問2 水道事業を取り巻く事業環境は、人口減少の進展、水道施設の老朽化、大規模地震発生の懸念など全国的に課題が山積していると言えます。県営水道フレンズのみなさまから見て、県営水道が将来に向けて力を入れていくべきことを、その理由を含めて入力してください。【必須】

**〔県営水道フレンズの活動〕**

質問3 今年度は水道フレンズメールにて、連載シリーズ「県営水道の管路整備や耐震化、老朽化対策について」を令和7年6月から11月まで、全5回にわたりお届けしました。今回の連載シリーズの内容や連載形式等について、該当する選択肢をお選びください。【必須】

- 1 適切だと感じた
- 2 適切でないと感じた
- 3 読んでいない、覚えていない

質問4 質問3に関連して、その選択肢を選んだ理由を入力してください。【必須】

(例：内容がわかりやすい、メールの回数を増やしてほしい、記事のボリュームを減らしてほしいなど)

質問5 水道フレンズ交流会において、聞きたい講義または意見交換で話し合いたいテーマ、見学したい施設がありましたら、入力してください。

(テーマ例：「今後の水道料金」、「県営水道の水質」など)

(見学施設例：「浄水場」、「ダム」など)

質問6 今までの、あるいはこれからの県営水道フレンズの活動について、ご意見・ご感想等がありましたらご自由に入力してください。

(例：実施してほしいイベントやフレンズ連載メールで特集してほしいテーマ、アンケートで取り扱ってほしいテーマ、第1回アンケートの感想など)